

コベルコ建機グループ

## 社会環境報告書 2010

### 特集I 先進的な低燃費技術の開発

衝撃のCO<sub>2</sub>削減40%を実現。

“燃費のコベルコ”が満を持して  
ハイブリッドショベルを市場投入。

### 特集II 現場のチカラ[改革と躍進]

- 製品のスムーズな流通を可能にした物流改革
- インド工場建設で、加速するアジアでの躍進

### 特集III 未来を担う人材育成

- 第2回 コベルコ・ELV解体技術競技会
- コベルコ建機カップ  
第6回 中学生レスキューロボットコンテスト



# CSR Message

人と地球の未来を考える、コベルコ建機グループのCSRメッセージ

Message  
1

コベルコ建機グループは、これまで環境問題に取り組んだなかで培ったノウハウを活かし、  
私たちならではの地球環境保全を行っています。

Message  
2

コベルコ建機グループは、「人と地球の未来を考える」をコンセプトに、  
地域社会への貢献と地域住民の方々との共存に努めています。

Message  
3

コベルコ建機グループの社員は、より良い未来の実現に向け、共に泣き、笑い、  
励まし合いながら進んでいくパートナーであり、大切な仲間です。

## 未来へ歩み続けるコベルコ建機グループ

コベルコ建機は、1999年に神戸製鋼所から独立して以来、ユーザー現場主義に基づき、真に価値ある商品・サービス・情報を提供することで顧客の満足に  
応えとともに、豊かな社会の建設に貢献できるよう努めています。

今日、新興国の急成長や、環境問題の高まりによる厳しい排ガス規制の進展など、建設機械を取り巻く事業環境は著しいスピードで、しかも大きく変化  
しています。このような激変の時代において私たちは、長年培ってきた開発力や  
ものづくり力を発揮し、変化に対応していかなければなりません。

コベルコ建機グループはこれまで、油圧ショベルに特化する戦略で歩んでま  
いりました。選択と集中を行う事業戦略のもと、技術力を発揮し、圧倒的な“燃  
費低減”や“静粛性”を実現した製品を世に送り出してきました。また、油圧ショ  
ベルの技術を応用した環境リサイクル分野で市場の開拓を進めるなど、フロン  
ティア精神で企業活動に取り組んでまいりました。私たちにできること、それに  
精一杯取り組むという変わらぬ姿勢を堅持し、人と環境にやさしい建設機械を  
つくり続けます。

一企業として、ステークホルダーのみならず長らく信頼を寄せていただける  
ように、そして、社会からの信頼を得るために、私たち社員一人ひとりが社会的  
責任を深く自覚し、業務の透明性を高めてコンプライアンスの徹底を図ります。  
コベルコ建機グループは、「CSR(企業の社会的責任)」の推進を重要な活動と  
位置づけ、今後も一歩ずつCSR活動に取り組んでまいります。

### ●報告書の対象に関して

- 【対象組織】 コベルコ建機株式会社および、  
グループ関連企業を対象としています。
- 【対象期間】 2009年4月1日～2010年3月31日  
(一部2010年4月1日以降の情報を含む)
- 【報告書発行】 2010年5月



コベルコ建機株式会社  
代表取締役社長

小谷重遠

## 存在感ある会社として 一歩先をリードし続ける。

近年の地球温暖化の防止とそれに伴う温室効果ガス削減という潮流は、建設機械の分野にも及んできています。1997年に策定された京都議定書では、2012年の温室効果ガス排出量を90年比で5%削減することが目標となりましたが、今後、ポスト京都議定書として、さらなる削減が必要と

なります。日本の排出量を見ると、その約1%は建設機械の排気ガスによるもので、そのうち油圧ショベルが59%を占めるといわれています。私たちはこうした背景のもと、省エネやCO<sub>2</sub>削減に寄与するべく、従来機と比較して燃費を20%向上させた油圧ショベルを開発し、2006年から販売しています。日本はもとより中国などでも大変好評で、ショベルとしての性能だけでなく、省エネやCO<sub>2</sub>削減という部分が評価されたと思ううれしかざりです。

そして、今年の1月には、従来機と比較して40%燃費低減を実現した待望の本格ハイブリッド油圧ショベルの販売を開始しました。この技術は、1999年から10年にも及ぶ長い期間、研究開発してきた成果であり、この圧倒的な燃費低減は、他社に追随を許さないと自負しています。都市型建設機械の主力クラスである8tクラスを先行してハイブリッド化したことで、潜在的な需要を掘り起こし、市場動向とバッテリー技術の進歩に注視しながら、本格量産の準備を進めてまいります。また、技術的には中型クラスへの適用も可能ですので、上位機種種のハイブリッド化ももちろん視野に

入れながら、研究開発を継続します。

コベルコ建機グループは、業界上位に比べ規模は小さい会社ですが、だからこそ、ピリッとした存在感のあるメーカーでありたいと考えています。そのためには、徹底的な差別化を行い、常に開発の手は緩めず、一歩先を行く「環境と人にやさしい建設機械づくり」を目指していつもりです。

企業の目的は、いかなる環境にあっても永久に存続することであり、成長や収益は目標達成のための手段だと考えています。唐の太宗の言葉で「創業と守成といずれか難き」とあるように、事を始める以上に継続発展させることはむずかしいことです。折にふれ、社員に「継続は力なり」と言っていますが、CSR活動も同じです。一旦始めたことは継続的に行う。そして、その活動は金銭的な寄付を行うことだけではなく、社員の思いやりや人的貢献にあふれたものであること。社員が自発的に行う活動に対しては会社として全面的にサポートします。身の丈にあったCSR活動を継続的に行う、これがコベルコ建機グループのCSR活動です。2010年度も、事業活動を通して社会貢献を行ってまいります。

# コベルコ建機グループのCSR

コベルコ建機グループは、建設機械づくりの視点から、また企業としての立場から、地球と人にやさしい活動を続けています。CSR組織体制を整え、活動方針・活動ポリシーに従って、全社をあげてCSR活動に取り組んでいます。

## □ CSR活動方針

私たちは持続的成長の実現を通じて、人と環境にやさしい循環型社会の創出に取り組んでいます。また、コベルコ建機グループに脈々と流れる心情を受け継ぎ、CSR活動を通して社員一人ひとりがさらに磨かれ、成長するきっかけにしていきます。

これらの活動は、次の3つの方針に基づいています。

- ①コベルコ建機グループは私たちならではの地球環境保全を行います。
- ②コベルコ建機グループは、地域社会への貢献と地域住民の方々との共存に努めます。
- ③コベルコ建機グループは、社員と共により良い未来の実現に向けて進んでいきます。

## □ CSR活動ポリシー

- 人道主義的でコベルコ建機グループの存在感を増すものであること。
- 身の丈に応じた活動であること。
- 事業を展開している地域での活動であること。

この3つのポリシーに従って「人と地球の未来を考えるコベルコ」をコンセプトに、さまざまなCSR活動を進めています。活動内容においては、単に金銭的な寄付をするのではなく、身近な人々や、事業を展開させていただいている地域での、心が通じ合うような活動や支援を大切にしています。コベルコの建設機械がいるそばで、コベ

ルコ建機グループのプレゼンスを高めていけるような活動を一つひとつ行っていきたいと思います。

## □ CSR組織体制

コベルコ建機グループは、2006年度に事務局となるCSR推進グループを発足させて以来、グループ全社・全従業員へCSR活動の輪が広がるよう、組織体制を見直しながら取り組んできました。活動の中核を担うCSR委員会は、CSR担当役員を筆頭に全社各部門の中堅、若手社員から選出されたメンバーで構成され、CSR活動の新規案件、スケジュール、中期計画などを担当しています。



全社CSR委員会

## コベルコ建機株式会社CSRサイト

社会環境報告書は、コベルコ建機(株)ホームページにも掲載しています。紙面で紹介しきれなかったCSR活動も掲載していますので、ぜひご覧ください。



<http://www.kobelco-kenki.co.jp/csr/index.html>

## Contents

### 01 はじめに

CSRメッセージ／活動概念／トップメッセージ／コベルコ建機グループのCSR

### 03 特集I 先進的な低燃費技術の開発

“燃費のコベルコ”が満を持してハイブリッドショベルを市場投入

### 05 特集II 現場の子カラ[改革と躍進]

製品のスムーズな流通を可能にした物流改革  
インド工場建設で、加速するアジアでの躍進

### 07 特集III 未来を担う人材育成

第2回 コベルコ・ELV解体技術競技会  
コベルコ建機カップ 第6回 中学生レスキューロボットコンテスト

### 09 環境保全活動報告

環境リサイクル機械／環境マネジメント

### 11 社会・地域活動報告

CSR基金／海外活動／国内活動／CSR賞制度

### 15 コンプライアンス・全社活動報告

コンプライアンス活動／製品の品質と安全／職場と人をつくる全社活動

### 17 環境数値／コベルコ建機グループの概要／編集後記

## 特集 I 先進的な低燃費技術の開発

### 圧倒的な省エネ。本格ハイブリッドショベルの誕生。

コベルコ建機(株)は、世界初となるハイブリッド油圧ショベルの実機を2006年4月にINTERMAT2006展示会(フランス)に出展した。以降、日本、アメリカ、中国など世界中で展示を行い、ハイブリッドの実用化を世に問うてきた。それから4年。2010年1月、驚異の燃費性能を実現したSK80Hの販売をついに開始した。NEDO(新エネルギー産業技術総合開発機構)からの委託で、ハイブリッド油圧ショベルの研究を始めたのが1999年秋。実に10年の歳月が流れた。その間、他社でもハイブリッド開発が進み、市場に出た機械もある。それでも“燃費のコベルコ”の名にかけて、世の中にない圧倒的な低燃費の実現を目指した。時間をかけて検証を繰り返し、慎重を期して仕上げた渾身のショベルだ。業界トップの燃費性能を誇る通常機と比べ、燃料消費量40%削減※1。用途によっては60%削減※2を達成している。

油圧ショベルは自動車と違い、負荷変動が激しい。最大パワーに合わせたエンジンを搭載するため、軽負荷時に余剰エネルギーが生まれる。そのエネルギーを徹底的に回収・蓄積し、重負荷時にエンジンをアシストすることで、エンジン負荷を平準化。これにより従来機より小型のエンジンで、同じパワーを出力できる。こうしてバッテリー方式を採用した自動車と同様な本格ハイブリッド建機が誕生した。環境対策はもちろん、燃費だけではない。SK80Hは超低騒音を実現し、市街地に暮らす人々にも配慮している。

※1・2 SK70SRのHモードとの比較。

### ハイブリッドだけではない、“燃費のコベルコ”。

“燃費のコベルコ”。その名は伊達ではない。例えば、2006年5月に発売した最も標準的な20tクラスの油圧ショベル(非ハイブリッド)において、燃費性能は業界トップであり、しかも“圧倒的な低燃費”を実現している。市中に流通している現行機が“圧倒的な低燃費”であることは、CO<sub>2</sub>削減だけでなく、顧客の経済性においても計り知れない貢献をしていることを意味する。

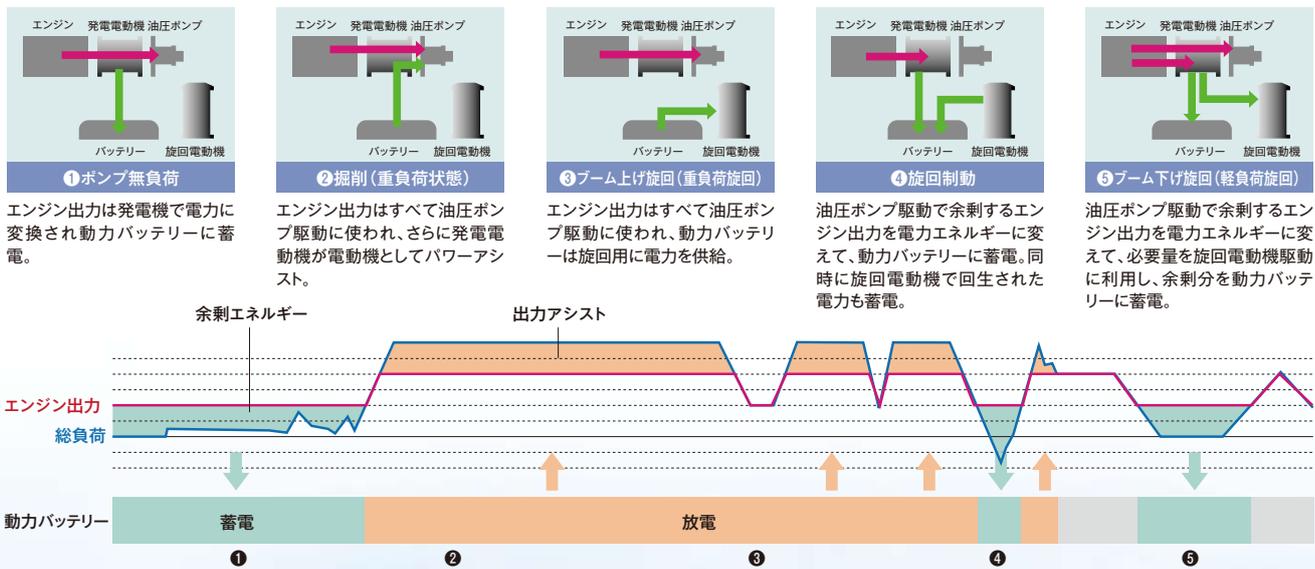
従来、油圧ショベルの燃費を客観的に計測し表示する指標がなかった。しかし、2007年に経済産業省、国土交通省の所管の(社)日本建設機械化協会は団体規格JCMAS(ジャクマス)で燃費基準を制定した。コベルコ建機グループは、他社との燃費性能の差が一目瞭然となる、燃費基準に基づいた測定結果を自社のパンフレットに掲載し始めた。何より顧客のためになることであり、燃費性能に対する自信の表れだ。こうした技術力を背景に誕生したハイブリッドショベルは先進的技術をさらに推進させていく役割を担っていると一言で過言ではない。コベルコ建機グループの、人と地球にやさしい製品づくりはこれからも進化し続ける。



衝撃のCO<sub>2</sub>削減40%を実現。

“燃費のコベルコ”が満を持して

## 蓄電とエネルギー回生、エンジン・アシストのメカニズム。



### 開発者インタビュー

## コベルコの技術が起爆剤に。新しいハイブリッド時代の幕開け。

ハイブリッド油圧ショベルの開発は、1999年、NEDOからの委託がきっかけで始まった。ハイブリッド式の自動車はすでに市販されていたが、小刻みに負変動を繰り返す建設機械では考え方が違い、手探りの研究が続いた。開発チームは、余ったエンジンエネルギーを蓄積し、重負荷時にアシストする独自のハイブリッドシステムを開発。制御担当の鹿児島は振り返る。「苦労したのはパワーの配分。どれくらいのバランスがベストなのか全く分からない。試行錯誤の連続でした」。

製品として市場に出すためには、耐久性、信頼性、安全性などが重要だ。試作機と実機では、求められるレベルが全く違う。「検証する以前に、「検証すべきこと」の議論からスタートでした」と小見山は笑う。実装技術も工夫を迫られた。ハイブリッド機には従来機が搭載する機器に加え、電動機やバッテリーなどが増える。「機器を全て搭載しなければいけないからフレーム構造を独自に設計しました」と下村。西村が続ける。「限られた空間の中で、最初のレイアウトが一番大変でした」。

研究開始から10年、初号機発表から4年、驚異の低燃費を誇るSK80Hがついに市場に出た。リーダーの空も思いは深い。「開発はおもしろかったが、先が見えず「こんなことに時間を費やしているのか」と葛藤したこともありましたが、でもモニター機の評判が自信になった」。さらにメンバーは異口同音に、組織一体となって取り組むことの重要性を語った。

### Interview

■開発メンバー(左から)

- 西村 耕一  
ショベル開発部 中大型ショベル開発グループ
- 下村 啓介  
ショベル開発部 中大型ショベル開発グループ
- 鹿児島 昌之  
要素開発部 電気制御系開発グループ マネージャー
- 空 利雄  
要素開発部 担当部長
- 小見山 昌之  
要素開発部 先行技術開発グループ マネージャー



#### 小型エンジン

同クラス非ハイブリッド機と比べ、2/3の出力の小型エンジン。燃料消費量および排出ガス量の低減、低騒音、低振動化に大きく貢献。

#### 発電電動機

無負荷・軽負荷時には発電機として電気をつくり、重負荷時には電動機としてエンジンをアシスト。動力システムのコアとなる機器。

#### 動力バッテリー

ハイブリッド自動車にも使われるニッケル水素バッテリー。ファン付き強制空冷タイプ。

#### ハイブリッドコントローラー

ハイブリッドシステムの司令塔。発電電動機および旋回電動機のドライブ制御を行う。

#### 旋回電動機

旋回減速時のエネルギー回収・再利用を担う。旋回を電動化することでエネルギー損失を低減。

# ハイブリッドショベルを市場投入。

## 特集Ⅱ 現場のチカラ [改革と躍進]

2009年10月、CO<sub>2</sub>削減や業務の効率化を目指して、神戸港から移転した新しい物流拠点が、広島市の五日市地区において稼働を開始した。

### “安全に、安く、確実に運ぶ” の視点からできることは何か。

「私たちは縁の下の方持ち。関係各社ならびに関係部署の協力があってこそ実現できたことなのです」。山下の第一声はこんな言葉だった。物流拠点を神戸港から、主要な工場に近い広島市の五日市港へ移し、陸送を減らすことでCO<sub>2</sub>やコストの削減を図る“物流改革”を進めていた。ところが、山下をはじめとする物流グループは、ある悩みを抱えていた。「生産工場のある広島には神戸ほどの十分な港湾施設がない。寄航する船も限られている。これでは大きな効果が得られない…」。



### 目標に向かって疾走。 多くを巻き込んだ改革へ。

そのころ、グローバルものづくり推進本部では、将来の生産拠点として広島港五日市地区に取得した土地の活用について検討を始めていた。広島市内に点在する駐機場を集約することによる輸送効率の改善が課題の一つだった。あるとき、山下

のもとへその話が飛び込んできた。「この土地の目の前は、五日市港だ。税関の特定輸出申告制度(AEO)を活用できれば、港湾施設を利用しなくても自社敷地内で通関が可能になる!」。山下は直感した。その行動は早かった。AEOのメリットを含め、五日市地区に物流拠点を置くことの効果や課題を検討し、経営幹部や関係部署へプレゼンを繰り返した。こうして、複数部門にまたがった物流改革が動きだした。

しかし、AEO承認までのプロセスは容易ではなかった。すでに進んでいた土地活用の計画を変更しなければいけない上、税関との協議、関係各社や関係部署との調整が山積みされていたのだ。

### 垣根を越えた協力が 大きな成果を生んだ。

「調整が平行線をたどったときもある。でも、皆の協力が後押ししてくれた。」と山下



は言う。共に活動してきたグローバルものづくり推進部の西田はこう振り返る。「大変だったが、今思えばとても楽しい活動でもあった。皆が部署の垣根を越えて目標を共有化し、スピード感を持って取り組んだことが大きな成果につながったのだと思う」。

結果、物流コスト約30%と大幅なCO<sub>2</sub>の削減を達成。原油換算で年間156kl(ドラム缶約800本分)の省エネもできる見込みだ。現在も、五日市港のSOLAS条約取得に向けた働きかけや、さらなる出荷効率アップへの改善を日々進めている。

## 団結すれば必ずできると 信じて進み、成し遂げた改革。

### 製品のスムーズな流通を可能にした物流改革



#### 物流改革

#### 山下 善久

営業企画部  
物流グループ グループ長

1992年入社。以来17年間海外関連の業務に従事。2009年4月より現業に就く。

生産技術

早間 純

グローバルものづくり  
推進本部 推進部  
インドプロジェクトグループ  
マネージャー

1994年入社。営業部門  
での経験を積み、10年  
ぶりに生産技術現場へ  
戻る。



成長著しいインドにおいて、油圧ショベルの生産工場建設が始まった。現地生産へ向けて準備が進み、インド市場への本格的な参入が始まろうとしている。

熱き思いを胸に  
期待と決意の起工式。

2010年2月1日インド アンドラ・プラデッシュ州にてインド様式に沿った起工式が行われた。起工式には在チェンナイ日本国総領事をはじめ、多くの来賓、関係者が招かれた。その様子を熱いまなざしで見つめていたのが早間だった。「さまざまな問題を乗り越え、起工式まで至ったのはうれしい。しかし、大変なのはむしろこれからですよ」。早間はそう話した。



最新の環境性能を持つ  
建設機械をこの国に。

現在インドでは、日米欧で販売される建設機械の2、3世代前のモデルが主に稼働している。「黒煙を吐き出している建設機械をたくさん見る。今後、ますますインフラ整備が盛んになり、もっと多くの建設機械が必要になるだろう。“燃費のコベルコ”として最新の環境性能を備えた高品質な

この国の発展と環境を守るため  
いまこそ、自分たちの出番。

インド工場建設で、加速するアジアでの躍進

油圧ショベルをいち早くお客さまのもとへ届けることが使命。この工場はそれを担っているんだ」。早間は厳しい目でそう語った。その背景には、“世界的な不況の中、今大きな投資をすべきなのか?”そんな慎重論が社内にもあったからだ。それでも将来を見据え、成長する市場での積極的な事業展開を選択した。早間は熱い思いでそれに応えようとしている。

多様な人材をまとめ  
伝えたいコベルコのコ精神。

しかし、道のりは平坦ではなかった。早間が直面したのは、インド独特のビジネスのやり方だ。時間やお金に対する考え方も日本や欧米とは全く違った。「最初は本当にとまどった。でもローカルスタッフはみんな工場の完成を待ちわびて、人種や職種の垣根を越えて支えてくれる。今は、一丸となって進んでいることを日々感じます」。

現在、インドプロジェクトグループを中心としたメンバーは、2011年1月の生産開始に向けソフト面の課題に取り組んでいる。インドではビジネスマン以外は、ほとんど英語を話せない。しかも公用語は10種類以上存在する。インド各地からたくさんの従業員を雇用する上で課題は多い。従業員同士のコミュニケーション、組立手順の指導、安全教育などの問題、そしてなにより伝えたいコベルコ流のものづくり。早間の奮闘はこれからも続くだろう。



※完成予想図

# 鍛え抜かれた匠の技を競う。

## 第2回 コベルコ・ELV解体技術競技会



### 技術者の育成を図り、競技会開催

コベルコ建機グループは、使用済み自動車(ELV)の解体技術を競う「コベルコ・ELV解体技術競技会」を、2009年10月に開催した。年間350万台発生するといわれる使用済み自動車は、金属資源としてリサイクルされるが、そのためには非金属部分を取り除かなければならない。リサイクルの品質向上のためにも、車の構造の複雑化に対応し、効率的で精巧な解体技術が求められている。コベルコ建機グループは、世界初の「自動車解体専用機」を開発・発売し、“環境リサイクル機械のコベルコ”とも称されている。製品開発だけでなく、技術者の育成にも力を注ぎ、今大会は、(株)高橋商会の全面的な協力と理解のもと開催に至った。

### 台風の中、国内外から集まった多くの視察者



今大会には全国各地から、腕に自信のあるオペレーター11人がエントリー。コベルコのマルチ解体機、SK200かSK135SRのどちらかを使い、あらかじめエンジン・足回りなどを取り外した自動車から、ハーネスなどの銅やアルミなどを分別回収する技術を競う。当日は記録的な大型の台風が上陸し、各地で混乱が起きる中、その技術をぜひ見ようと、全国の解体事業者はもとより、オーストラリアや台湾、韓国など、海外からの視察者も駆けつけた。

### 観客も熱狂! 技術のさらなる向上に期待

使用済み自動車の解体手順はオペレーターがそれぞれ工夫を積み重ね、技法を習得。他社の思いもかけない技や、オペレーター独自のテクニックもある。その独創的で繊細な匠の技に、見学者た



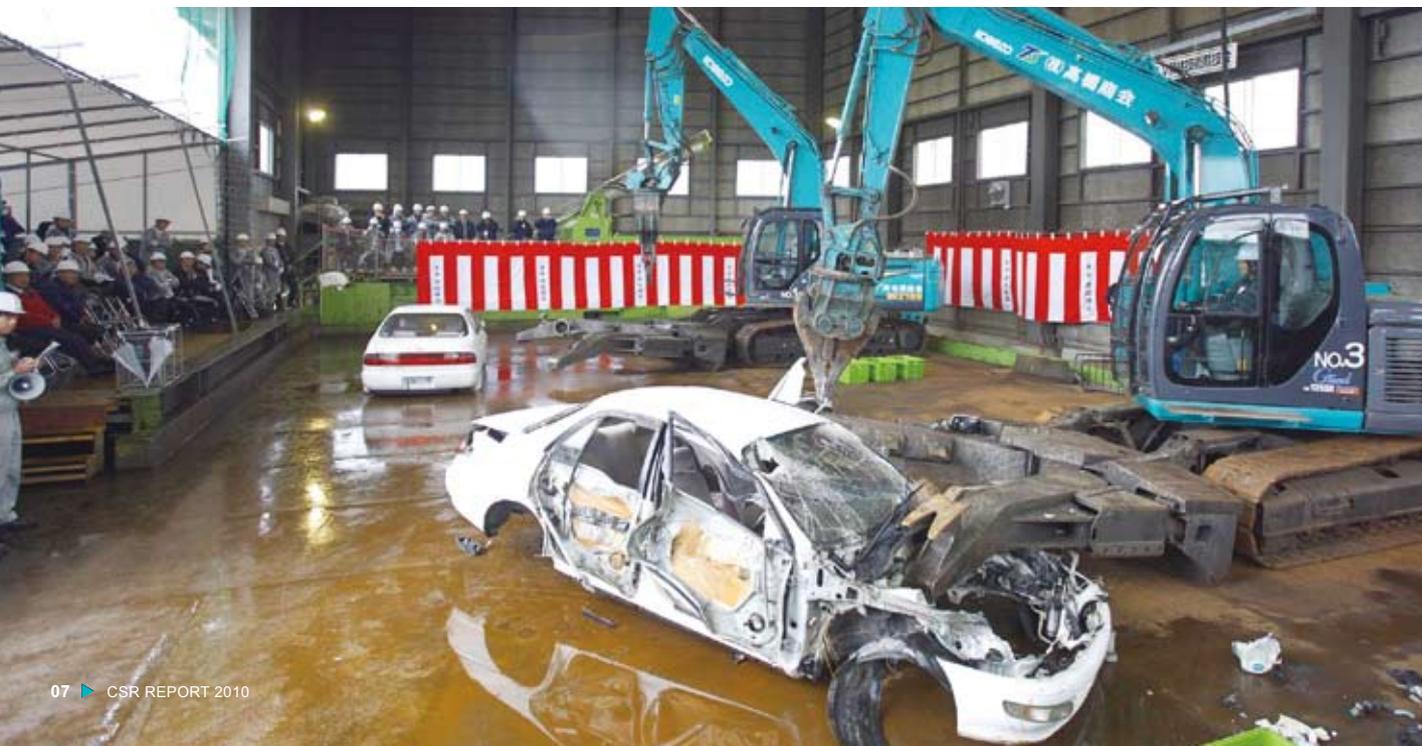
ちの目は釘付け。各自が写真やビデオを撮り、時に感嘆の声が上がるほどだった。競技会後の親睦会も含め、互いに技を披露し、交流の場を持ったことは、業界の進歩へ大きく貢献できたといえるだろう。

#### ●担当者のコメント

記録的な悪天候下での開催でしたが、多数のご参加をいただき、大きな感激の中で終わることができました。機械性能が最大限に発揮されるのはオペレーターさんあってのこと。両者の思いを一つにできるこの競技会を今後も続けていきたいと思います。

#### 玉井 正浩

コベルコ建機(株)  
営業促進部環境マーケティンググループ グループ長





●メッセージ



**山本 透さん**  
広島大学  
教育学部教授

**技術だけでなく、心や感性を育てる場。  
使命をもって、さらに発展させたい**

参加チームも毎年増え続け、第6回を迎えることができました。驚くのは、回を追うごとに進化する技術やアイデア。二次災害や被災者への配慮がレベルアップしていることもうれしく思います。また、学生が運営することで、教育者を目指す彼らにとっても、貴重な経験の場になっています。

この大会は最初、私の教え子だった大学院生が研究の一環として企画したもの。今回、審査員として参加し、「大きな大会になってうれしい。技術はもとより、「レスキュー」への理解度が上がった気がする」と言っていました。多くの意味を持つこの大会をこれからさらに成長させていきたいと思っています。



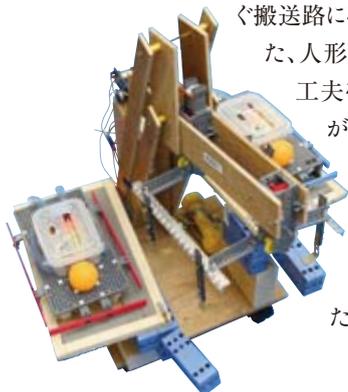
# 未来のエンジニアが集結。

## コベルコ建機カップ 第6回 中学生レスキューロボットコンテスト

**盛り上がる会場。柔軟なアイデアの数々に脱帽**

被災地での人命救助をテーマにした「中学生レスキューロボットコンテスト」が2010年1月に開催された。広島大学教育学部の学生でつくる実行委員会が主催し、昨年コベルコ建機グループがスポンサーとして応援している。競技は、被災現場を模した競技フィールドの中で、自作のロボットを操作して、障害物に囲まれた2体の人形を救助するもの。スピードや技術に加え、“人へのやさしさ”が評価の重要なポイントになる。

参加したのは、広島県内の中学校から22チーム。各チームが工夫を凝らしたロボットは、とにかく独創的だ。小さなボディで障害物をすり抜けて救助に向かうものや、ボディの一部が障害物をまたぐ搬送路になるものなど、救助の方法もさまざま。また、人形を衝撃から守ったり、不安を取り除く工夫をしたり、身体と心に気を配るやさしさが随所に見られた。今回審査員として初参加したコベルコ建機(株)開発生産本部生産設計部の下垣内宏部長も「こんなに多彩なロボットが集まるとは。中学生のアイデアに驚いた」と関心の様子だった。



**学生と一緒に運営も。“私たちができること”を实践**

経済的な支援にとどまった昨年、物足りなさを感じていた広島CSR委員会は、今年から人的な協力を申し出た。毎週行われる広島大学でのミーティングには車で1時間かけて、必ず誰かが参加。準備から運営まで、学生たちと一緒に汗を流した。当日は広島大学生チームとコベルコチームでのエキシビジョンマッチも実現し、中学生に取り囲まれた社員たちは質問攻めになっていた。

子どもたちに科学やものづくりの楽しさを伝え、思いやりの心を育てると同時に、大学生たちが社会人と触れ合う機会をつくれたことは、この活動をより一層価値あるものにした。

●優勝チームのコメント

安定して救出できるように工夫した大型アームと、左右にたためる搬送台が特徴で、2人同時に運びます。金具をたくさん使っているので、調整がとても難しかったです。競技の途中でトラブルがあり、冷や汗が。でも、なんとか乗り切り、優勝できてよかったです。



広島市立高取北中学校  
「邪魔痛飯魅」のみなさん



# 積み重ねが大きな力に。 地球環境を守るための 厳しい姿勢。

コベルコ建機グループは、地球にやさしい製品づくりを行っています。  
製品の性能はもとより、製造過程においても環境へ配慮。  
環境リサイクル分野で活躍する建設機械の開発・生産にも力を入れています。

資源  
リサイクル

さまざまな分野で活躍する  
コベルコ建機グループの  
環境リサイクル  
機械

建設  
リサイクル

金属  
リサイクル

環境  
リサイクル  
機械

## 分別解体に力を発揮する 環境リサイクル機械

環境意識の高まりやさまざまな法規制の整備に伴い、リサイクルが定着してきましたが、コベルコ建機グループでは再資源化をキーワードに環境分野に早くから着目し、誠実に建設機械の開発に取り組んできました。

役目を終えた使用済み自動車、取り壊されるビル、あらゆる事業活動や生活から発生する産業廃棄物。これらはそのままではただの「ゴミ」ですが、綿密な分別を行うことで価値ある資源へと再生できます。そこで大きな役目を果たするのがコベルコの環境リサイクル機械です。生産品質、処理能力、環境対策など、多くの視点から高度な要求に応え、処理工程・流通形態を深く知ることを実現した豊富なラインナップ。建設、資源リサイクル以外にも林業などさまざまな分野でコベルコの建設機械が稼働し、多くのお客さまから高い評価をいただけてきました。コベルコ建機グループは、これからも資源循環型社会の発展に貢献し続けていきます。

### ■資源リサイクル 資源セパレータ [SK70SRD]

対象物を保持するクランプアームなど、複合廃棄物を価値ある資源へと再生する小型ハンドリングマシン。



### ■金属リサイクル マルチ解体機 [SK210D] (電動式)

エンジン仕様機と同等の作業性能を得ながら、CO<sub>2</sub>排出量だけでなく燃費はもちろん、作業時騒音も大幅に低減。クリーン&エコを実現しました。



### ■建設リサイクル メインブーム 兼用型解体機 [SK135SRDLC]

アタッチメントの組み合わせにより3種類の仕様機に展開可能。1台3役で、安定して高い稼働率を得られるユーティリティマシンです。  
※写真は専用機





## 環境 マネジメント

# 環境保全へ向けて 進化を続ける厳しい体制

### □ 環境管理方針

コベルコ建機グループは「地球環境改善に積極的に取り組むことが全ての生命体に共通する最も重要な課題であり、より健全な地球環境を次世代に引き継ぐことが私たちの使命である」と認識したうえで、このかけがえのない地球を守るために、「全社環境管理方針」を制定し、事業活動のあらゆる面において環境に配慮する「環境経営」の推進に努めています。

#### ■ 環境経営基本方針

グループ環境経営の実践による企業価値向上

コベルコ建機グループは、グローバルな環境先進企業、持続して成長する企業、人間の幸福を実現する企業を目指し

- ① 環境に配慮した開発・生産活動
- ② 製品・サービスでの環境への貢献

- ③ 社会との共生・協調

を実践することにより、社会的責任を果たすとともに、企業価値を高めます。

### □ 行動指針

#### 1. 環境に配慮した開発・生産活動

- ① コベルコ建機グループは、省エネルギー型商品、リサイクル率向上型商品、低騒音・低振動商品の開発に注力します。
- ② コベルコ建機グループは、地球温暖化対策への取り組みとして、生産、物流などあらゆる省エネ対策とCO<sub>2</sub>削減を推進すると共に、循環型社会の構築への取り組みとして、リサイクル率向上に向け、処理困難物の再資源化に向けたあらゆる努力をします。コベルコ建機グループは、生産活動における環境負荷低減に努めます。
- ③ コベルコ建機グループは、継続して化学物質を適正管理しま

す。化学物質は可能なものから自主削減に取り組みます。化学物質審査規制法、PRTR法の改正、REACH規制等にも遺漏なく対応していきます。

#### 2. 製品・サービスでの環境への貢献

コベルコ建機グループは、環境負荷・CO<sub>2</sub>低減に寄与する製品・サービスを積極的に社会に提供します。

#### 3. 社会との共生・協調

- ① コベルコ建機グループは、社会環境報告書等において、環境関連情報を積極的に開示し、透明性を高めます。
- ② コベルコ建機グループは、事業所周辺の美化活動や地域とのコミュニケーション等を継続すると共に、環境ボランティア活動の推奨等に取り組みます。

#### 4. 全員参加による取り組みの展開

- ① コベルコ建機グループは、クールビズ等「エコ活動」を継続推進し、従業員が自らの役割の中で、環境に貢献する取り組みにつなげます。
- ② コベルコ建機グループは、環境教育・学習を通じて全従業員の環境感性の向上を図ります。

#### 5. 環境管理・監査

- ① コベルコ建機グループは、法令を遵守します。
- ② コベルコ建機グループは、マネジメントシステムを維持強化すると共に、環境リスクを的確に把握し、改善することで、環境管理レベルを向上させます。
- ③ コベルコ建機グループは、廃棄物の委託処理を適正に行うと共に、管理および処理状況を確認・把握し、管理レベルを向上させます。

#### □ 環境リスク管理・環境監査

コベルコ建機グループは、全ての生産工場および拠点に環境リスク管理体制を構築し、環境監査の強化に努めています。また、大気、水質、振動、騒音、廃棄物、化学物質、エネルギー、危険物、施設・設備等のチェック項目を設定。各事業所において対象項目が関係法令等に定められた基準を満たしているか、定期的な環境監査を行っています。



# 地域に貢献し、地域で共存する。 そこに、つながる喜びが。

コベルコ建機グループは、事業活動を行っている地域を大切にしています。

住民の方との交流や、地域に密着した支援活動を推進し、地元へ根ざした企業として、地域との共存・共栄を目指します。

● 彭州  
● 成都

## CSR基金

### 社内公募により 多彩な貢献活動を応援

社会全体への貢献活動を推進するため、2006年度に「コベルコ建機CSR基金」を設立しました。国内外を問わず、主にコベルコ建機グループが事業展開する地域を中心に、さまざまな支援を続けています。対象は、社内公募の中からコベルコ建機グループのCSR活動の理念に合致するものが選ばれ、これまでに、地域社会への支援、地球環境の保護、人材育成などをサポート。今年度もアンコールワット復興を支えるカンボジア人の育成、中学生レスキューロボットコンテスト、大垣のHIRO学園支援、熊本の植林活動など幅広い取り組みを実施しました。

## 海外活動

### 現地に足を運び 心の通じるサポートを実施

コベルコ建機グループはこれまでに、グローバル企業の一員として事業を展開する中国・東南アジア・ヨーロッパなどでも、地域に根ざした貢献活動を行ってきました。各拠点では、従業員が実際に足を運んで地域の声に耳を傾け、必要なものは何かを感じることからスタート。私たちにできる“身の丈にあった活動”を積極的に展開しました。今年度も災害復興支援や近郊小学校の支援など、これからの社会を背負って立つ子どもたちへのサポートを中心に活動をしてきました。コベルコ建機グループは、未来を見据え地域社会と共に成長できる支援を今後も続けていきます。

● シェムリアップ

## □ その他海外での活動

項目	活動地	内容
西南交通大学 神鋼奨学金制度	中国・成都	将来を担う優秀な学生を支援するために、2006年12月、神鋼奨学金制度を設立しました。この奨学金は、さまざまな審査があるレベルの高い奨学金制度で、学生たちは日々努力を積み重ねています。(成都神鋼建設機械有限公司)
近隣観光地での 清掃活動	中国・成都	成都市にある有名な観光地の環境保護と、地域住民や観光客にその大切さを知ってもらうことを目的として、清掃活動を実施。成都市に拠点を構える3社から従業員が参加しています。(成都神鋼工程機械(集団)有限公司、成都神鋼建設機械有限公司、成都神鋼建機融資租賃有限公司)
フィリピン孤児院の 運営・活動維持の支援	フィリピン・マニラ	厳しい生活環境のなかで子どもたちが暮らしているフィリピン孤児院に、運営や活動を維持するための資金を寄付しています。寄付金は主に、食料や飲料水の確保、食堂の整備などに使われています。(東京本社)

詳しい活動内容は <http://www.kobelco-kenki.co.jp/csr/index.html>



被災した小学校の再建（慶興神鋼小学校）

戻ってきた子どもの笑顔が  
支援の最大の喜びでした（中国・彭州）

Topics

2008年5月12日に発生した四川大地震。コベルコ建機グループの成長を支えてくれた地元が壊滅的な状態となりました。多くの命を奪い、道路や住宅を崩壊させただけでなく、未来を担う子どもたちの大切な学び舎をも奪っていったのです。

コベルコ建機グループは、震災直後から地元四川省の復興支援を積極的に行い、その後、市政府が進める小学校再建計画にも参画。従業員が何度も足を運び、これまで学校を支えてきた多くの方々の声を聞き、心が通う支援を続けてきました。

8カ月に渡り続いた再建も、2009年9月22日に無事落成式を迎え、子どもたちに震災前と同じ笑顔と笑い声が戻りました。コベルコ建機グループはこの結果に満足することなく、教材やスポーツ用品の寄付などを継続し、地元の方々の心と記憶に残る貢献活動をこれからも続けていきます。



みなさまからお預かりしたお見舞金および寄付金は、小学校再建の活動資金として使わせていただきました。ご協力ありがとうございました。謹んでお礼を申し上げます。



近隣観光地での清掃活動  
（中国・成都）



西南交通大学神鋼奨学金制度  
（中国・成都）



フィリピン孤児院の運営・活動維持の支援（フィリピン・マニラ）

衢州市常山県新昌郷対塢小学校への支援

■杭州神鋼建設機械有限公司（中国・衢州）

杭州神鋼建設機械有限公司の近郊に、学習環境が整っていない小学校があることを知り、従業員が学校を訪ねました。未来を担う子どもたちにより多くのことを学んでほしいと願い、制服や電子ピアノ、学用品などの必要品を寄贈することを決定。図書室を設け、多くの本も準備しました。寄贈日には校内で式典が執り行われ、新しい制服を着た子どもたちの笑顔があふれていました。



アンコール・ワット復興を支えるカンボジア人の育成

■東京本社（カンボジア・シェムリアップ）

アンコール・ワットは近年、観光客の急増により深刻な環境汚染に悩まされています。1980年からその遺跡の修復と調査、そして環境保全に取り組んでいる上智大学アンコール遺跡国際調査団は、特に「カンボジア人による、カンボジア人のための、カンボジアの遺跡復興」に力を注いでいます。コベルコ建機グループはこの取り組みに共感し、2006年度から支援を続けています。



## 人とのふれあいを通じ 地域と共存

「人と地球の未来を考えるコベルコ」の活動コンセプトのもと、国内では、従業員のボランティア活動や地域イベントへの協力を中心にCSR活動を行っています。コベルコ建機グループは住民の方々とのつながりや交流を深め、地域に根ざした活動を継続的に行うことにより、地域で愛され親しまれながら、地域と共に成長することを大切に考えています。

### 東京本社前花壇の手入れ

- コベルコ建機(株) 東京本社
- 通年

コベルコ建機(株) 東京本社では、有志が定時退社後に集まり、会社前や近隣の花壇の、清掃や手入れを継続的に行っています。今年で4年目を迎え、社内だけでなく近隣住民の方にも認知され2008年には数ある品川区の企業の中から「しながわ環境大賞」を受賞しました。2009年は年間を通じて9回実施。地道な活動ではありますが、CSR活動は継続することに意味があると活動指針にもあり、今後も継続していきます。



正しい自転車の乗り方講習(明石)



敷地周辺の清掃活動(尼崎)



熊本植林活動(熊本)



### 近隣小学校の社会見学

- 西日本コベルコ建機(株)九州支社熊本営業所・コベルコ教習所(株)
- 2009年10月1日

近隣の室小学校1年生 約70名が、社会見学として熊本工場とコベルコ教習所 熊本教習センターの見学、およびエンジンを停止した状態で乗車体験をしました。小学生たちは初めて近くで見る建設機械の大きさに驚き、少し興奮していました。営業所の活動指針に「発展、そして貢献」とあり、今後も企業活動だけにとらわれず、少しでも地域に役立つ活動を継続していきます。



### □ その他国内での活動

項目	活動地	内容
ペットボトルキャップの回収	全社	ペットボトルのキャップを回収するエコキャップ活動が全社に広がっています。回収したキャップの収益をもとに、NPO法人を通じ発展途上国へワクテンが届けられています。(全社)
しながわ夢さん橋	東京	毎年恒例となりました大崎周辺まちづくり協議会主催の「しながわ夢さん橋」に今年も参加しました。品川区民が集まる年に1度の大イベントで、コベルコ建機グループのブースにも多数の方にご来場いただきました。(東京本社)
祇園工場周辺の清掃活動	広島	2カ月に1度、祇園工場周辺の清掃活動を実施しています。従業員が気軽に参加できるCSR活動で、事業所内でCSR活動の輪が広がるきっかけにもなっています。(広島事業所)
花いっぱい運動	岐阜	「事業所内を美しく」を合言葉に始まった花いっぱい運動。事業所内やその周辺に季節にあった花を植え、従業員や地域住民の方々に大変喜ばれています。(大垣事業所)
中学生の職場体験	岐阜	近隣中学校の生徒を招き、1日職場体験を実施しました。参加した中学生は2名で、普段とは違う環境に戸惑う場面もありましたが、楽しみながら職場を体験してもらいました。(大垣事業所)
かなみ作業所グッズ販売	岐阜	知的障害者へ作業指導を行い、地域社会での自立と社会参加を支援する「大垣市立かなみ作業所」。同市内に拠点を置く大垣事業所ではその目的に賛同し、作業所でつくられた商品が事業所内で販売しています。(大垣事業所)
敷地周辺の清掃活動	兵庫	西日本コベルコ建機(株)の敷地周辺の清掃活動を実施しています。従業員約20名で草抜きやゴミ拾いを行っています。最近では近隣住民の方が利用される歩道まで活動範囲を広げ喜ばれています。(西日本コベルコ建機本社)
水上バイクによる河川での活動	熊本	熊本営業所従業員が所属する水上バイクチーム「シーブリーズ」と協力して、近隣河川の清掃やイベントでのレスキュー活動を実施しています。(熊本営業所)
熊本植林活動	熊本	熊本営業所と地域の森林組合が共同で植林活動を実施しました。コベルコ建機グループは環境保護・保全についてもCSR活動の一環と考え支援しています。(熊本営業所)
正しい自転車の乗り方講習	兵庫	明石警察署と協力し、近隣住民の方を対象とした自転車の乗り方講習を実施しました。当日は34名の方が参加され、熱心に耳を傾けられていました。(コベルコ教習所 明石教習センター)
どこでん行く隊支援	福岡	西日本コベルコ建機カスタムセンターの従業員が所属する地域活動支援グループ「どこでん行く隊」。障害者施設や老人ホームの支援、芋ほり体験など、地域に密着したボランティア活動を続けています。(九州支社)

詳しい活動内容は <http://www.kobelco-kenki.co.jp/csr/index.html>



しながわ夢さん橋(東京)



どこでん行く隊支援(福岡)



花いっぱい運動(大垣)

### 祇園商工フェスティバルへの参加

■コベルコ建機(株)広島事業所  
■2009年10月25日

広島事業所がある地域のイベント、祇園商工フェスティバルに参加しました。今年度は初めてブースを出展。建設機械になじみのない子どもたちや近隣住民の方々に、油圧ショベルの楽しさやCSR活動を知ってもらうよい機会となりました。当日は天候にも恵まれ、建設機械ファンのみなさまに多数来場いただいた上、質問もたくさんいただき、従業員もうれしい悲鳴を上げていました。



### HIRO学園交流会

■コベルコ建機(株)大垣事業所・コベルコ教習所  
■2009年5月13日

HIRO学園はブラジル人学校で国内初の学校法人。大垣事業所で働く日系ブラジル人の子どもたちが通っていることから、交流が始まりました。近くのコベルコ教習所 岐阜教習センターにてショベルやホイールローダーの写生大会の実施や、日本語検定試験の支援(08年度日本語検定試験で、1級1名・2級5名が合格)も行っています。共に働く従業員やその家族が幸せに暮らせる環境づくりを、今後も支援していきたいと思っています。



## CSR賞制度

Topics

### 社会に貢献し、 人々に夢を与えた功績を称えて

CSR賞とは2007年度から開始した制度で、社会環境の視点から顕著な功績や貢献を行った組織、団体、人物を表彰するものです。その活動を称え、今後も一層活動に励んでいただけるように、また、こうした活動を広く展開することにより、ほかの取り組みの模範となり、活性化につながることを目的として、本制度を設立しました。

事務局にて、当該年度における事績の選定を行い、功労者(受賞者)を決定し、毎年10月の創立記念式典で表彰します。

表彰対象事績は、以下の4つです。

- 事業展開エリアにおけるCSRへの取り組みにおいて、環境対応、地域貢献、人材育成などの顕著な功績をあげたこと。
- CSRの取り組みを通して、当社および当社グループの名誉、またはブランドアップとなるような功績をあげたこと。
- 産業災害やその他の災害を未然に防止、またはこれらの災害に際し人命救助をしたこと。
- 上記に準ずる事績に該当すること。

昨年はCSR賞として、表彰状とトロフィーを贈呈いたしました。

### □ 2009年度CSR賞 受賞!

#### コベルコ建機カップ 中学生レスキューロボットコンテスト

受賞者：広島CSR委員会

コベルコ建機(株)がスポンサーを務める、広島県の中学生を対象にしたレスキューロボットコンテスト。参加した中学生は、一生懸命つくったロボットにさまざまな思いを込め、動きに一喜一憂していました。その様子は見ているものを引き込み、会場は熱気に包まれていました。レスキューロボットの開発・製作・操作を通じて、ものづくりの楽しさを感じていただき、またレスキューロボットのコンセプトを検討することで人の命の大切さを考えることを狙いとしたことが高く評価され表彰に至りました。



#### 花壇の手入れ清掃活動

受賞者：厚木営業所

今年で6年目を迎える活動。きっかけは厚木営業所に勤務していた故人を偲び、春一番に咲く梅の花を植えたことでした。現在では、地域住民との交流・地域清掃整備に発展し、季節ごとに花を植え替えています。会社の前が幼稚園児の送迎場所のため、子どもや親御さん方も喜んでいただいています。地道な活動を継続したことによって営業所周辺がきれいに保たれていること、そして何より長年活動を継続してきたことに大きな意義があり、表彰に至りました。



## 社会を支え、人を守る。信頼される企業として担う責任。

コベルコ建機グループでは、安心・安全な製品をつくり、社会と働く人を守るために、さまざまな制度を導入。企業としての社会的責任を果たし、よりよい暮らしの創造に貢献していきます。

### コンプライアンス活動

### 法令と常識を守り 自らを律する高い意識

コベルコ建機グループでは、企業経営上の法令遵守のみならず、企業倫理と企業の社会的責任が強く必要とされていると認識し、コンプライアンス活動を推進しています。活動の柱として、基本方針とコンプライアンス5原則を掲げ、社会的責任を果たすように努めています。

#### ■基本方針

- ① 私達はあらゆる企業活動において関係法令及びこの行動規程を含む社内諸規定を遵守し、企業倫理と社会常識から逸脱しないよう行動します。
- ② 私達はあらゆる企業活動において人権を尊重し、人種、性別、職業、年齢、国籍、社会的地位、宗教、身体的障害、言語、出身地等に対する差別を行いません。
- ③ 私達はあらゆる企業活動において当社と利害関係にある全ての人達との間で公正な取引を行います。
- ④ 私達は常に高い倫理観に基づき行動し、反社会的な行為や会社の名誉や信用を損なう行為を一切行いません。
- ⑤ 私達は常に安全性高く、地球環境の保全に十分配慮した商品を提供し、併せて顧客に喜ばれるサービスや必要な情報をタイムリーに提供します。

#### ■コンプライアンス5原則（社会の常識を守る）

- ① ルール違反・不正をしない。
- ② ルール違反・不正があった場合には、隠さない。
- ③ ルール違反・不正を発見した場合には、直ちにコンプライアンス責任者に報告する。
- ④ ルール違反・不正について報告した者は決して不利益を受けない。
- ⑤ ルール違反・不正に対し、即時に正・防止策を実行し、的確・迅速に公表する。

### □コンプライアンス委員会の設置

コベルコ建機グループでは、企業活動における法令や倫理の遵守活動を高めるため、取締役会から独立した機関としてコンプライアンス委員会を設置しています。より公平で透明性の高い組織にするため、社外の委員も含めています。

### □個人情報保護および企業秘密管理

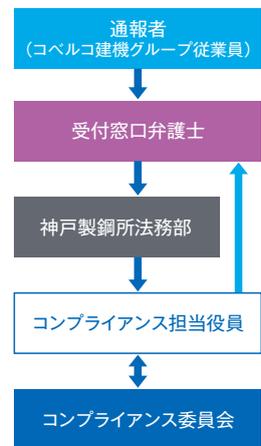
「個人情報保護法管理規程」や「個人情報保護法ポリシー」、「企業秘密管理規程」を制定し、グループ全体の管理体制を整備しています。また「個人情報取扱マニュアル」をもとに社内研修を定期的で開催し、個人情報や企業情報の保護意識向上にも努めています。

### □内部統制・リスク管理

企業におけるマネジメントの透明性を高めるため、リスク管理や内部統制の整備に尽力しています。現場レベルのリスクの洗い出しや対策立案など、組織風土にまで遡って効果的な改善をしています。

### □内部通報システム

企業としての浄化作用を促進し、健全な企業風土を維持するための仕組みとして、「内部通報システム」を設けています。これにより、法令・企業倫理・行動基準に違反することによるリスクの顕在化や、早期に問題を把握し対策を講じることで問題の拡大化を防ぐ効果があります。運用に際しては、通報を行ったことにより通報者が不利益を受けないよう、徹底的に配慮しています。



### □特定輸出申告制度導入

コンプライアンスを含む社内体制や、貨物のセキュリティ管理体制を整備し、自社の倉庫などで輸出申告が可能となる特定輸出申告制度を導入しました。新たに完成した五日市出荷場から輸出貨物の迅速かつ円滑な船積みが可能となり、リードタイムおよび物流コスト、CO<sub>2</sub>の削減を図っています。



### □インフルエンザ対策

BCP(事業継続計画)の一環として新型インフルエンザ対策の基本方針対応ガイドラインを作成。全関連会社と連携してパンデミック(全世界流行)に対処する体制を整備しました。

新型インフルエンザ対策の基本方針は次の通りです。

- ① 従業員の生命を守る。
- ② 社会的責任を果たす。
  - 社会の一員として公衆衛生に寄与し、感染拡大をさせない。
  - 社会機能の維持に関わる事業を継続する。
  - 社会に対する製品供給責任を果たす。

この基本方針ののっとり、WHO(世界保健機構)の新型インフルエンザのフェーズ定義に合わせて、グループ内での体制を整備。万一、想定する事態が発生した際には、ガイドラインに準じて行動していきます。

製品の  
品質と安全

## ユーザー現場主義を徹底し 信頼される製品を提供

品質保証とは、環境に配慮し安全で高い品質の商品・サービスを提供する仕組みです。コベルコ建機グループでは商品企画から開発、生産、販売、サービスに携わる全ての部門の活動が、お客さま価値の最大化、つまり、安全で高い品質の商品の提供を追求しています。これは全社員が品質保証活動を継続的に実践しているということです。

### ■品質理念

「ユーザー現場主義」の考え方を重視し、お客さまが要求される品質をつくり込むことにより、お客さまの満足と信頼を得る商品を提供し、社会に貢献するとともに社員ならびに会社の繁栄に寄与する。

- 企業の健全な存立基盤としての品質づくりの推進
- グローバル企業に相応しい品質づくりの推進

### □合同品質会議

毎年1回、国内外工場、および海外現地法人(中国3、タイ、シンガポール、他)との合同品質会議を実施しています。“メイド・バイ・コベルコ”の合言葉のもと、コベルコ建機グループの全ての工場が、高いレベルでの品質の均質化の実現に向け、互いに切磋琢磨する場としています。



### □危機管理演習

有事の際に危機管理プログラムが正しく作動することの確認と、心構えや基本動作の習得を目的として、2006年から毎年2回、危機管理演習を実施しています。当社の商品は、市街地で使われることも多く、被災者の救護、周囲の安全確保、関係機関への通報、社内への情報ルートなど、あらゆるリスクを想定した対応を心掛けています。



職場と  
人をつくる  
全社活動

## 愛される会社を目指した 働きやすい職場づくり

コベルコ建機グループは、「人を大切にする」という観点から、社員に愛され、社内外から信頼される企業を目指し、人事・福利厚生において法律に則した社内制度を整えています。さらに独自の対策も加え、健全で働きやすい職場づくりに努めています。

### □仕事と育児の両立を図る雇用環境整備

2005年度より一般事業主行動計画を策定し、仕事と育児の両立を図る雇用環境整備を進めています。イントラ「Libra」に、会社や行政による育児支援情報を掲載。2010年度は、伝染病などで保育園や学校が休みになった場合の福祉休暇を導入し、看護・介護時の特別休暇の拡充と通常賃金支払いを制度化しました。

### □メンタルヘルスケアの取り組み

「安全でいきいきと働ける職場環境」づくりを目指して全従業員が一体となって安全と健康づくりの活動に取り組んでいます。新入社員研修と管理職研修では、メンタルヘルス教育を実施。一般社員を対象としたセルフケア研修も定期的に行っています。また、休職者には円滑に職場復帰できるよう段階に応じた支援体制をつくり、産業医・職場関係者で支援。過重労働は、産業医面接や職場環境改善活動などにより、ここ3年間で激減しました。

### □インターンシップ

将来のキャリアを念頭に置いた就業意識の向上や、コベルコ建機グループを含めた建設機械業界への理解、また企業における仕事の意義を理解してもらうことを目的として、2005年度より公募制で毎年夏季に実施。昨年は合計14名を東京・広島事業所にて受け入れました。より実務に近い経験ができると学生から好評を得ています。



### □消防活動

参加260チームを数える広島市自衛消防競技大会では、女子屋内消火栓の部で念願の優勝、男子消火器の部も準優勝となり、好成績を残しました。広島市消防局主催の消防出初式では模範演技を披露し、コベルコの消火活動に対する地域の評価も上がっています。また、大垣事業所は2009年11月、第30回事業所初期消火競技大会に参加し、屋内消火栓消火競技の部で準優勝しました。



### 多様な人材の活躍

障害を持つ従業員が、能力を最大限に発揮して活躍できる職場づくりを大切にしています。開発生産本部 技術管理部 有迫隆志さんは、不慮の事故により左手が不自由になりましたが、3次元CAD教育を担当し、若手社員のよき相談相手としても活躍。プライベートでは2009年の日本障害者オープンゴルフ選手権で見事優勝を勝ち取りました。



Topics

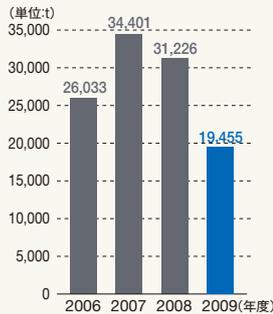
# 環境数値

## □ 廃棄物発生抑制とリサイクルの推進

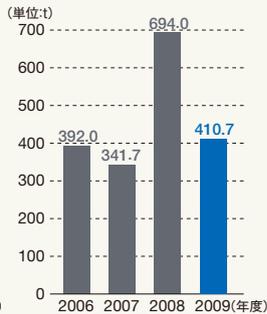
廃棄物の発生を極力少なくするとともに、可能な限り再資源化するように努めています。今後も引き続き再資源化の技術開発を進めるなど、廃棄物の発生抑制を一層進捗させていきます。

### ●投入資源の削減

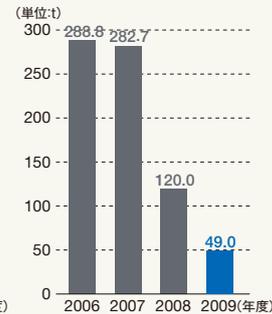
(祇園工場水道使用量の削減)



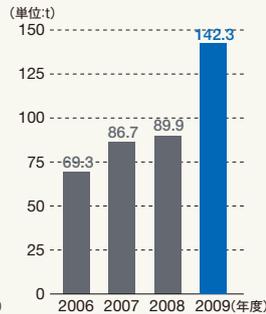
### ●リサイクル化の推進※1



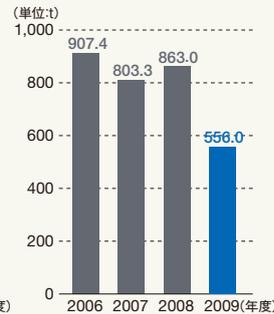
### ●製品梱包材の削減※1



### ●一般廃棄物排出量の削減※1



### ●産業廃棄物排出量の削減※2



※1…広島事業所と大垣事業所の合算値

※2…祇園工場の排出量

## □ 事業活動に伴う排出量

### コベルコ建機(株)広島事業所

主要製品:建設機械、運搬機械、自動車、自動車関連機械器具・部品

#### ■大気

項目	設備	規制値	実測値
NOx	該当なし	該当なし	—
ばいじん	該当なし	該当なし	—
ダイオキシン類	該当なし	該当なし	—

#### ■水質

項目	規制値	実測値(平均値)
COD	該当なし	—
SS	600	8.1
油分	5	0.7
ダイオキシン類	該当なし	—

#### ■化学物質

物質	排出量				移動量		主な使用工程、使用目的など
	大気	公共水域	土壌	所内埋立	下水道	事業所外	
キシレン	74,000	0	0	0	0	26,000	塗装
トルエン	12,000	0	0	0	0	8,000	塗装
エチルベンゼン	19,000	0	0	0	0	3,000	塗装

■大気データ  
 ※規制値:大気汚染防止法、県条例、ダイオキシン類対策特別措置法  
 ※単位:NOxはppm、ばいじんはmg/Nm<sup>3</sup>、ダイオキシン類はng-TEQ/Nm<sup>3</sup>  
 ※規制値は、対象施設ごとに決められています。  
 ※表に記載されていない以下の項目はすべて定量限界値以下(検出されない)もしくは規制値以下。  
 硫酸酸化物、カドミウム、塩素、塩化水素、フッ素、フッ化水素、およびフッ化珪素、鉛、ベンゼン、トリクロロエチレン、ダイオキシン

■水質データ  
 ※規制値:水質汚濁防止法、県条例、ダイオキシン類対策特別措置法もしくは市下水道条例、協定値

取扱物質総数 4

### コベルコ建機(株)大垣事業所

主要製品:建設機械及び部品

#### ■大気

項目	設備	規制値	実測値
NOx	該当なし	該当なし	—
ばいじん	該当なし	該当なし	—
ダイオキシン類	該当なし	該当なし	—

#### ■水質

項目	規制値	実測値(平均値)
COD	30	2.89
SS	40	0.2
油分	5	0.2
ダイオキシン類	該当なし	—

#### ■化学物質

物質	排出量				移動量		主な使用工程、使用目的など
	大気	公共水域	土壌	所内埋立	下水道	事業所外	
キシレン	20,381	0	0	0	0	6,302	塗装
トルエン	5,709	0	0	0	0	1,888	塗装
エチルベンゼン	5,454	0	0	0	0	822	塗装

※単位:mg/ℓ、ダイオキシン類はpg-TEQ/ℓ  
 ※ND:分析定量限界値以下(検出されない)  
 ※表に記載されていない以下の項目はすべて定量限界値以下(検出されない)もしくは規制値以下。  
 pH、BOD、全窒素、全リン、フェノール類、総クロム、溶解性鉄、溶解性マンガン、フッ素、銅、亜鉛、カドミウム、総シアン、有機リン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、アルキル水銀、PCB、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエタン、1,1,2-ジクロロエタン、1,1,1-トリクロロエチレン、1,1,2-トリクロロエタン、1,1,2-ジクロロプロパン、テトラウム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン

■化学物質  
 ※単位:kg

取扱物質総数 4

## 中国環境表彰

中国では、2003年に清潔生産促進法(クリーン生産促進法)が施行され、環境保護に対する意識も高まっています。これまで杭州神鋼建設機械有限公司(中国)は、環境保護関連法令の遵守はもとより、汚染源調査への積極的参加、クリーン生産システムの認証取得など環境保全活動を推進してきました。その結果、「2009年度エコロジー整備および環境保護事業における先進企業」として杭州経済技術開発区管理委員会より表彰されました。私たちは、この結果に満足することなく、今後もグローバル企業の一員として全世界で地球環境保全活動を行っていきます。



Topics

## 新工場に取り入れられたエコアイデア

コベルコ建機グループは、2009年10月に中国四川省成都市にある2つの生産合併会社を統合し、12月にはミニから中大型機械までを生産する新工場の竣工式を行いました。この工場には、雨水を貯めて工業用水として循環利用する貯水装置や、外から取り込んだ空気を下から吹き上げて天井で排気する空気循環システムなど、環境に配慮した工夫がされています。これを発案したのが、中国国内での販売・サービスを統括する成都神鋼工程機械(集団)有限公司 楊建川 総経理。トップみずからが先頭に立ってエコアイデアを発案し、環境保護活動を推進しています。







### 感じています、新鮮!

小さな風。きっと最初はそこから始まる。  
その風が共鳴しあい大きなニーズに成長する。  
私たちは小さな風に耳を澄ます、感じとる。  
人にもっと優しい技術の道を切り拓くために。  
新しさと提案に満ちたマシンづくりを。  
新風を感じ、帆いっぱい促え、また新たな旋風を呼ぶ。  
マシンと人間の新しい関係が生まれる。

"Feelin' Fresh!"は、何よりお客さまの現場を重視する  
「ユーザー現場主義」の姿勢を貫くことを誓う  
私たちのコーポレート・メッセージです。

## コベルコ建機株式会社 KOBELCO CONSTRUCTION MACHINERY CO., LTD.

東京本社:〒141-8626 東京都品川区東五反田2丁目17番1号 ☎03-5789-2111  
広島本社(広島事業所):〒731-0138 広島県広島市安佐南区祇園3丁目12番4号 ☎082-874-1111  
大垣事業所:〒503-0932 岐阜県大垣市本今町1682番地の7 ☎0584-89-3104

<http://www.kobelco-kenki.co.jp>



本冊子は大豆油インク及び再生紙を使用しています